

Customer Value Creation  
December 2008

株式会社テイツー (JASDAQ7610)  
2009年2月期 第3四半期

決算説明会

URL: <http://www.tay2.co.jp>

**2009年2月期 第3四半期**

**決算説明**

## 2009年2月期 第3四半期 連結業績サマリー

単位:百万円	07年2月期 第3四半期	08年2月期 第3四半期	09年2月期 第3四半期	増減額	
				対 07/2期 3Q	対 08/2期 3Q
連結売上高	29,290	31,804	28,973	△316	△2,831
連結営業利益	421	1,000	501	80	△498
連結経常利益	378	971	456	78	△514
連結当期純利益	116	522	65	△50	△456

### ○消費環境変化の影響を受けながらもほぼ計画通りに推移

古本市場事業：新品ゲームソフトが非常に好調であった前年には及ばず 前年同期比マイナス

アイ・カフェ事業：消費低迷の影響を受けたものの、営業利益は赤字幅縮小

E C 事業：営業利益の黒字定着

### ○キャッシュ・ポジションを高めに設定

資金確保の状況が不透明な昨今の金融状況を鑑み、

キャッシュ・ポジションを高める財務戦略を実施。

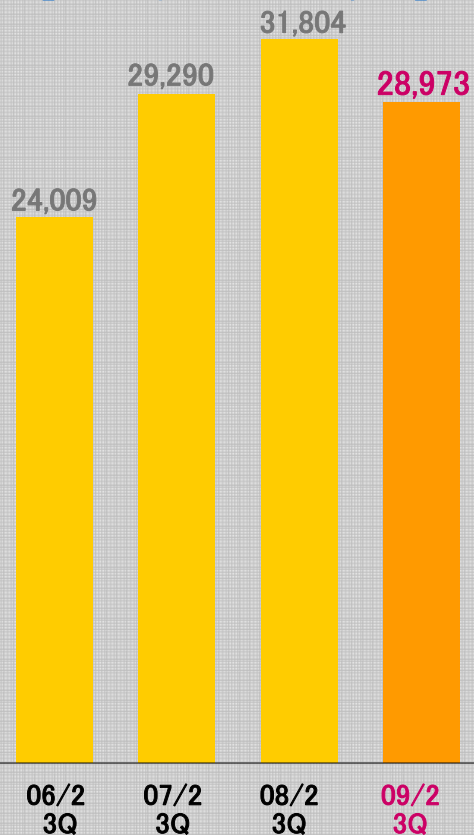
結果、今後の経営戦略において、柔軟な対応を行うことが可能な財務基盤を構築。

# 連結業績推移

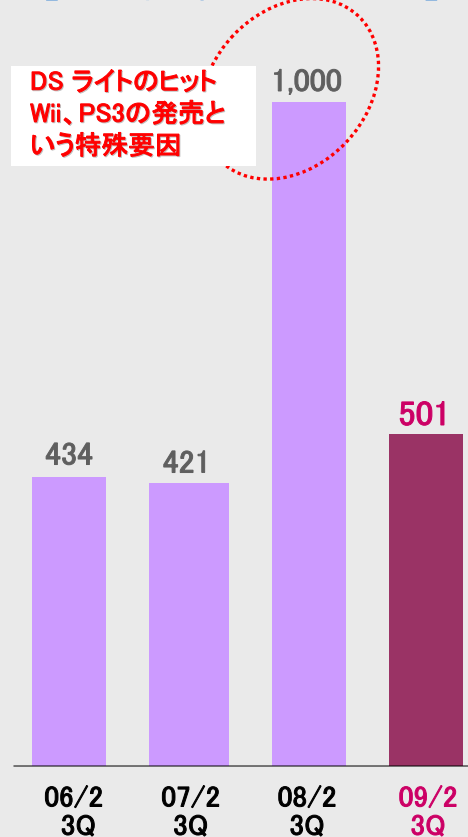
単位:百万円

前年同期比では減収減益になったが、ほぼ計画通りに推移

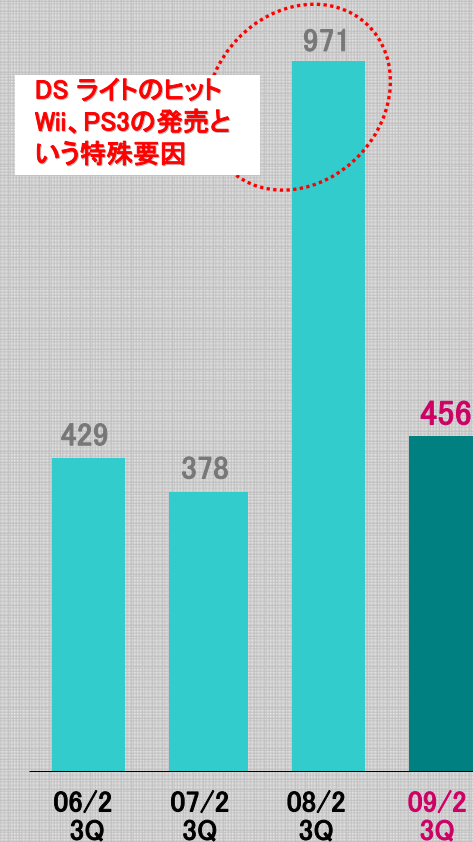
【連結売上高】



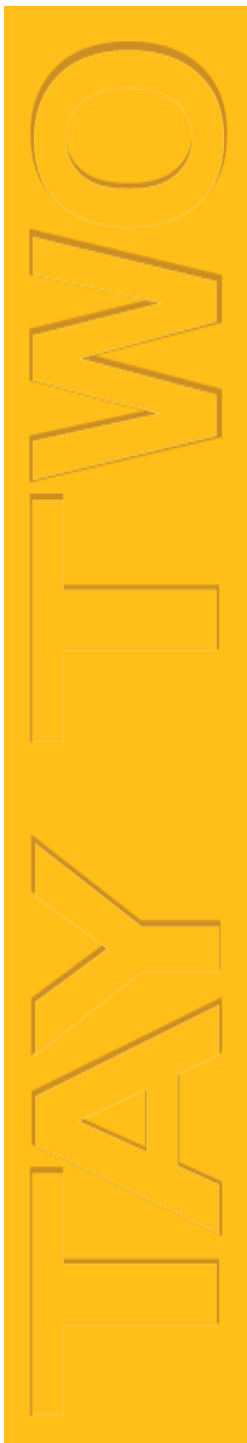
【連結営業利益】



【連結経常利益】



単位:百万円	06年2月期 3Q	07年2月期 3Q	08年2月期 3Q	09年2月期 3Q
連結売上高	24,009	29,290	31,804	28,973
連結営業利益	434	421	1,000	501
連結経常利益	429	378	971	456



## 2009年2月期 第3四半期 対前年比較

### 【連結損益計算書】

(百万円)

	2008年2月期 第3四半期(07/3~11)		2009年2月期 第3四半期(08/3~11)		前期比
売上高	31,804	100.0%	28,973	100.0%	△ 8.9%
売上原価	23,787	74.8%	21,330	73.6%	△ 10.3%
売上総利益	8,016	25.2%	7,642	26.4%	△ 4.7%
販売費一般管理費	7,016	22.1%	7,140	24.6%	1.8%
営業利益	1,000	3.1%	501	1.7%	△ 49.8%
経常利益	971	3.1%	456	1.6%	△ 53.0%
四半期純利益	522	1.6%	65	0.2%	△ 87.4%

前期ゲーム市場活況  
の反動減

### 【単体損益計算書】

(百万円)

	2008年2月期 第3四半期(07/3~11)		2009年2月期 第3四半期(08/3~11)		前期比
売上高	29,398	100.0%	26,473	100.0%	△ 9.9%
売上総利益	7,489	25.5%	7,122	26.9%	△ 4.9%
営業利益	1,137	3.9%	588	2.2%	△ 48.3%
経常利益	1,134	3.9%	551	2.1%	△ 51.4%
四半期純利益	521	1.8%	172	0.7%	△ 66.9%

## 2009年2月期 第3四半期 事業セグメント別業績

### ■事業セグメント別売上高

(百万円)

	2008年2月期 第3四半期	2009年2月期 第3四半期	増減率
<b>連結売上高</b>	<b>31,804</b>	<b>28,973</b>	<b>△ 8.9%</b>
古本市場事業	29,393	26,464	△ 10.0%
アイ・カフェ事業	2,095	2,180	4.0%
EC事業	382	387	1.3%
セグメント間消去	△ 67	△ 59	—

前期ゲーム市場  
活況の反動減

前期比増収およ  
び赤字幅縮小

### ■事業セグメント別営業利益

(百万円)

	2008年2月期 第3四半期		2009年2月期 第3四半期		増減率
<b>連結営業利益</b>	<b>1,000</b>	<b>3.1%</b>	<b>501</b>	<b>1.7%</b>	<b>△ 49.8%</b>
古本市場事業	1,839	6.3%	1,428	5.4%	△ 22.3%
アイ・カフェ事業	△ 173	△ 8.3%	△ 124	△ 5.7%	—
EC事業	10	2.7%	6	1.6%	△ 40.0%
消去又は全社	△ 676	—	△ 808	—	—

人員増による費  
用増加があるも  
のの、黒字化定  
着

## 2009年2月期 第3四半期 予実対比

### 【連結】

(百万円)

	08年9月修正計画		実績		達成率
売上高	29,100	100.0 %	28,973	100.0 %	99.6 %
営業利益	530	1.8 %	501	1.7 %	94.7 %
経常利益	490	1.7 %	456	1.6 %	93.2 %
当期純利益	75	0.3 %	65	0.2 %	87.8 %

### 【事業セグメント別】

(百万円)

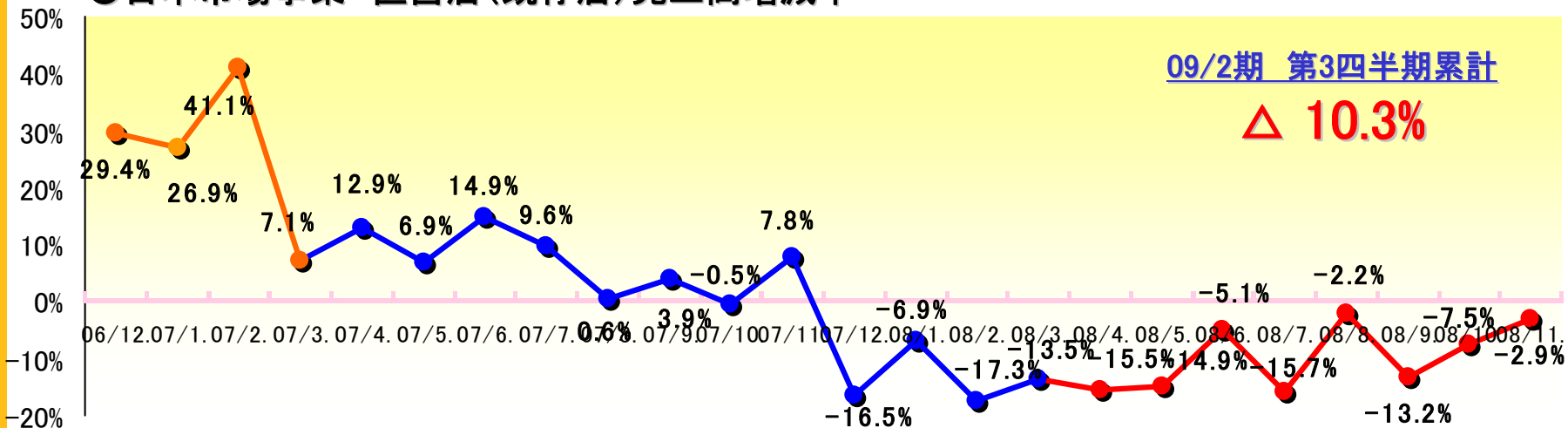
	08年9月 修正計画	実績	達成率
<b>連結売上高</b>	<b>29,100</b>	<b>28,973</b>	<b>99.6 %</b>
古本市場事業	26,500	26,464	99.9 %
アイ・カフェ事業	2,260	2,180	96.5 %
EC事業	400	387	96.9 %
消去	△60	△59	-
<b>連結営業利益</b>	<b>530</b>	<b>501</b>	<b>94.7 %</b>
古本市場事業	1,460	1,428	97.9 %
アイ・カフェ事業	△120	△124	-
EC事業	10	6	60.8 %
消去又は全社	△820	△808	-

当初予想より消費環境が冷え込んだ影響

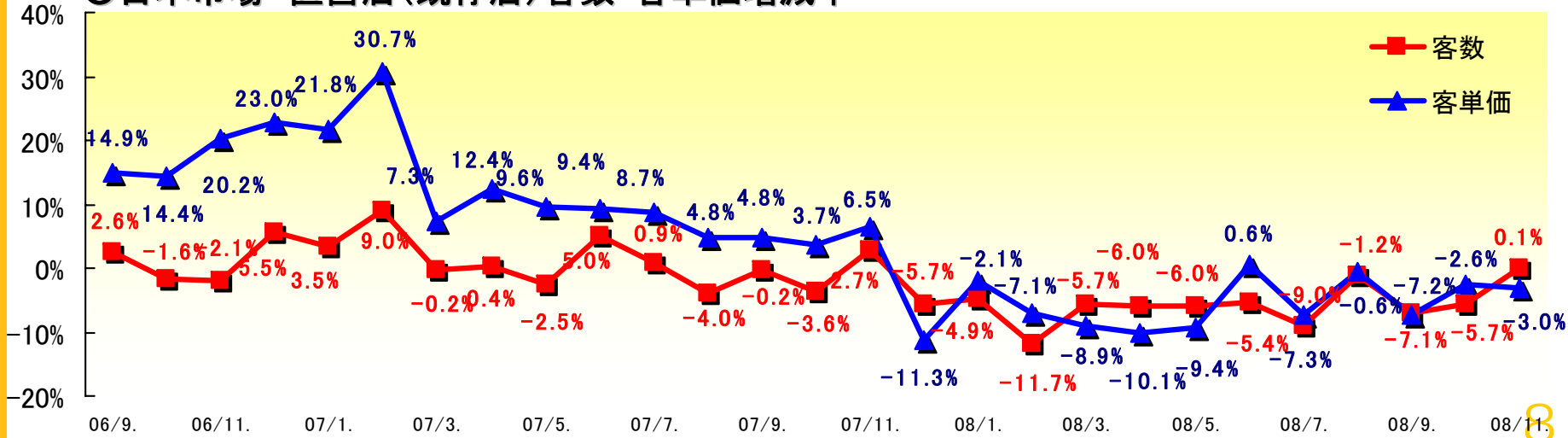
# 【古本市場事業】

新品ゲーム機活況の反動減等により、前年同期比減収減益

○古本市場事業 直営店(既存店)売上高増減率



○古本市場 直営店(既存店)客数・客単価増減率



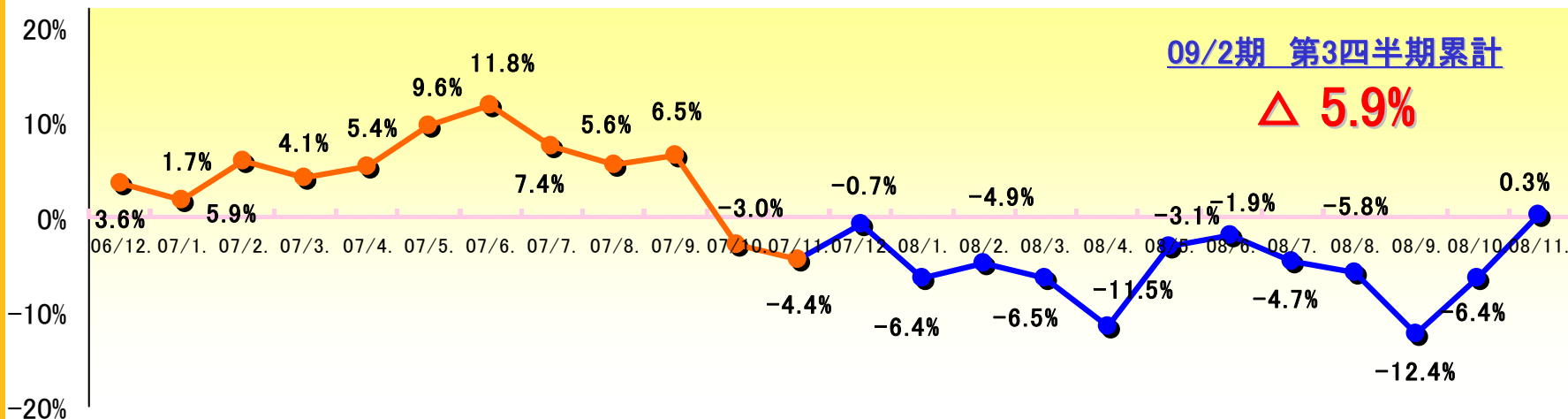


# 【アイ・カフェ事業】、【EC事業】の概況



## 売上高・営業利益ともに前年同期比増により、赤字幅縮小

○アイ・カフェ事業 直営店(既存店)売上高増減率

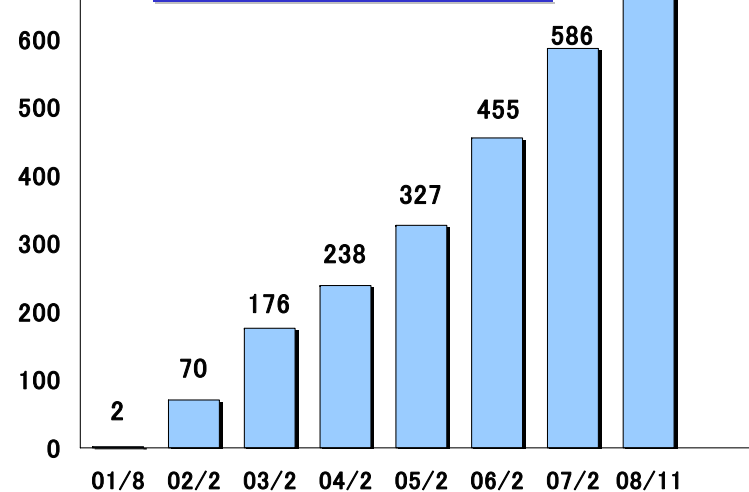


## 売上高は前年同期比増、営業利益は黒字化定着



(千人) 700

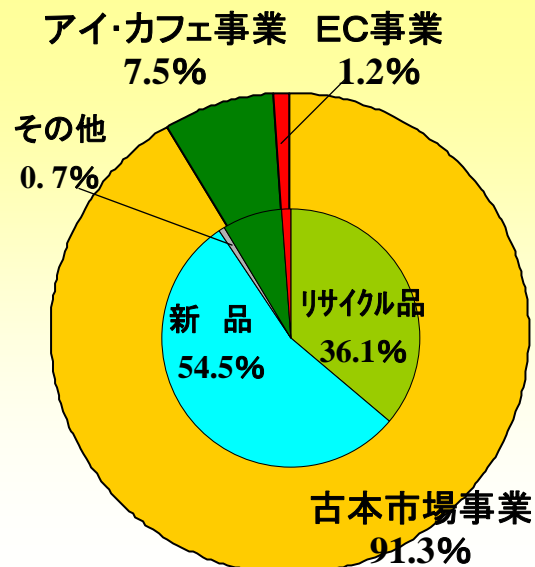
### ユーブック会員数推移



# 2009年2月期 第3四半期 品目別売上高・売上総利益【連結】

## 売上高、構成比

新品内訳	百万円	
	08/2	09/2
新刊書籍	569	539
新品ゲーム	16,323	13,575
新品CD	797	869
新品DVD	873	769
その他	52	45
合計	18,616	15,799



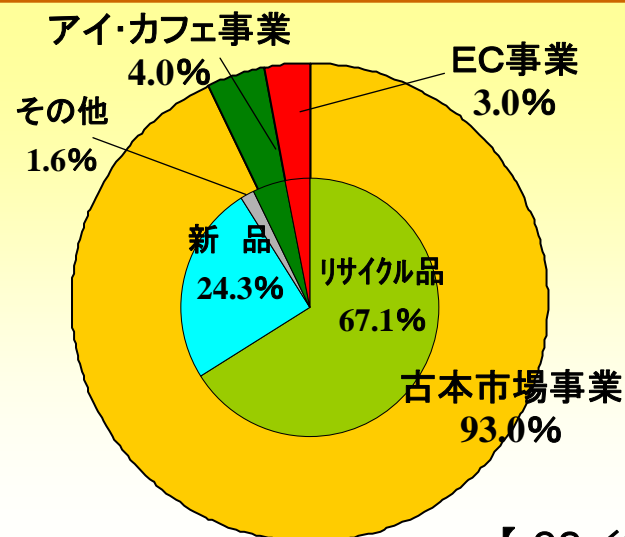
リサイクル内訳	百万円	
	08/2	09/2
古本	3,507	3,456
中古ゲーム	5,756	5,801
中古CD	503	475
中古DVD	777	719
その他	0	3
合計	10,543	10,456

【09/2期第3四半期 構成比】

※古本市場事業の主な販売品目を売上構成表にまとめました。

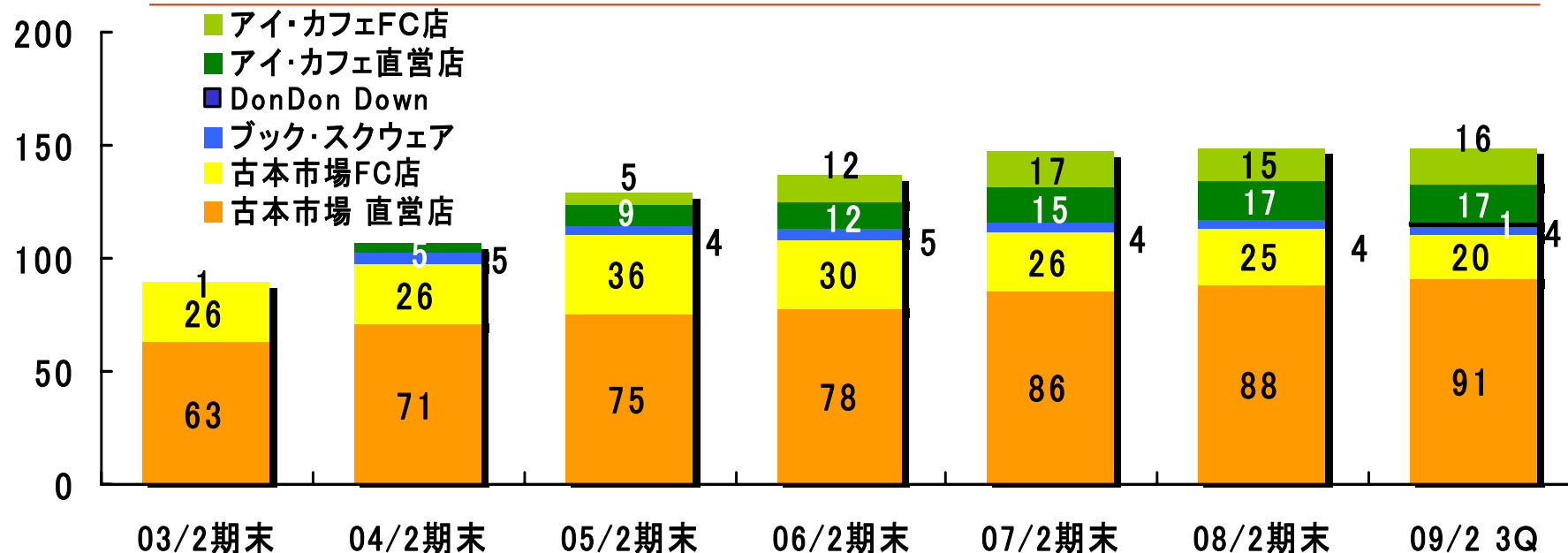
## 売上総利益、構成比

セグメント別	百万円	
	08/2	09/2
古本市場事業	7,478	7,109
リサイクル	5,228	5,125
新品	2,102	1,857
その他	146	127
アイ・カフェ事業	318	304
EC事業	220	228
合計	8,016	7,642



【09/2期第3四半期 構成比】

## 2009年2月期 第3四半期 出店状況



	08/2期	09/2期 第3四半期			増減数
	期末	出店	退店	期末	
古本市場直営店	88	3	0	91	+3
古本市場FC店	25	0	△5	20	△5
ブック・スクウェア	4	0	0	4	0
DonDon Down on Wednesday	-	1	0	1	+1
アイ・カフェ直営店	17	0	0	17	0
アイ・カフェFC店	15	1	0	16	+1
合計	149	5	△5	149	0

## 2009年2月期 第3四半期 貸借対照表【資産の部】

(単位:百万円)	08年2月期末		09年2月期 第3四半期末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>流動資産</b>	5,908	51.9%	7,791	59.2%	1,833
現預金	1,187	10.4%	1,607	12.2%	419
売掛金	332	2.9%	451	3.4%	118
たな卸資産	3,812	33.5%	4,858	36.9%	1,046
その他	575	5.1%	873	6.7%	298
<b>固定資産</b>	5,473	48.1%	5,362	40.8%	△ 110
有形固定資産	2,305	20.3%	2,209	16.8%	△ 96
無形固定資産	358	3.1%	301	2.3%	△ 57
投資その他の資産	2,808	24.7%	2,851	21.7%	43
長期貸付金	506	4.5%	527	4.0%	△21
差入保証金	1,624	14.3%	1,645	12.5%	20
その他	677	5.9%	678	5.2%	1
<b>総資産</b>	<b>11,381</b>	<b>100%</b>	<b>13,154</b>	<b>100%</b>	<b>1,772</b>

### たな卸資産の増加

#### 繁忙期に向けた商材確保

08/2期末      09/2期 3Q末  
**3,812**      **4,858**  
**百万円**      **百万円**

08/2期末比: 1,046百万円

08/2期3Q末      09/2期 3Q末  
**4,865**      **4,858**  
**百万円**      **百万円**

08/2 3Q比: △7百万円

## 2009年2月期 第3四半期 貸借対照表【負債・純資産の部】

(単位:百万円)	08年2月期末		09年2月期 第3四半期末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
負債合計	6,611	58.1%	8,504	64.7%	1,893
流動負債	4,722	41.5%	5,824	44.3%	1,101
買掛金	1,365	12.0%	2,269	17.3%	903
短期借入金	1,533	13.5%	2,446	18.6%	912
その他	1,823	16.0%	1,108	8.4%	△ 714
固定負債	1,889	16.6%	2,680	20.4%	791
長期借入金	1,401	12.3%	2,228	16.9%	826
純資産	4,769	41.9%	4,649	35.3%	△ 123
株主資本	4,555	40.1%	4,462	33.9%	△ 93
資本金	1,165	10.2%	1,165	8.9%	-
資本剰余金	1,119	9.8%	1,119	8.5%	-
利益剰余金	2,612	23.0%	2,548	19.4%	△ 63
自己株式	△ 342	△ 3.0%	△ 372	△ 2.8%	△ 30
評価換算差額等	3	△ 0.0%	△ 0	0.0%	△ 3
少数株主持分	202	1.8%	170	1.3%	△ 32
負債純資産合計	11,381	100%	13,154	100%	1,772

### 有利子負債の増加

- 短期借入金の増加  
⇒繁忙期に向けた商材確保
- 長期借入金の増加  
⇒手元資金の安定確保

### 【参考】

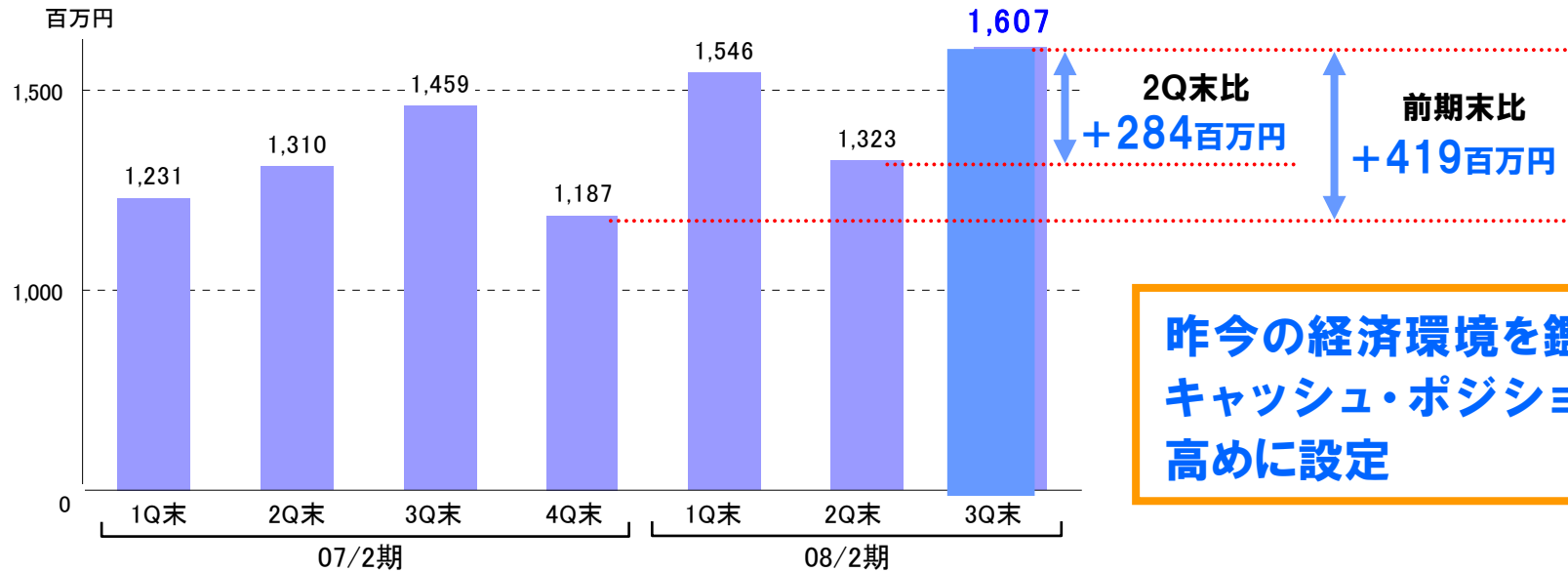
設備投資額(連結)  
453百万円

減価償却費(連結)  
401百万円

# 連結貸借対照表のポイント① 現預金残高

## 現預金残高の状況

前期末比、2Q末比で大きく増加



昨今の経済環境を鑑み、  
キャッシュ・ポジションを  
高めに設定

## ○ キャッシュ・ポジションを高めた目的

### ① 事業資金の確保

昨今の金融情勢の厳しさに加え、今後さらに不透明感を増すこと想定し、事前に現預金残高を高めに確保し、今後の事業資金を確保。

### ② 経営戦略の柔軟性確保、選択肢の増加

景気低迷の見通しが強まっている一方、従来に比べ新規投資・新規事業展開・M&Aなどのコストは低下。資金の安定化を図ることにより、今後の経営戦略において柔軟な対応を行うことが可能。

## 連結貸借対照表のポイント② 有利子負債

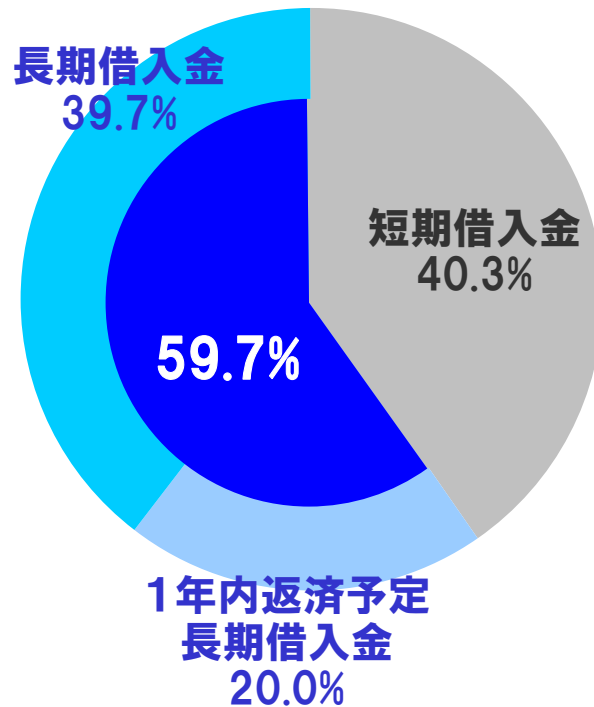
有利子負債の調達状況

安定資金の確保のため長期中心に調達

直近の厳しい金融機関の貸出姿勢の中でも、健全な財務体質維持により、  
**長期借入金を中心に資金調達を実施**

### 有利子負債の内訳

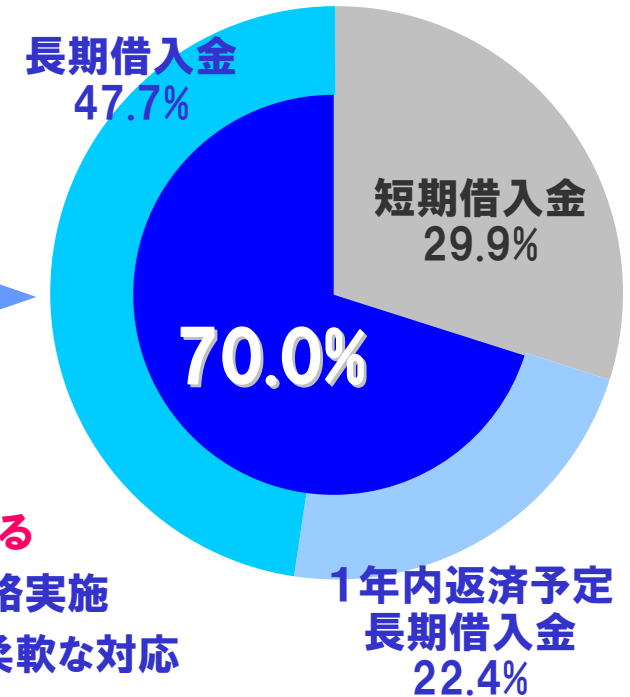
(前期 3Q末)



安定的な事業資金確保のため、**長期中心**とした資金調達にシフト

### 有利子負債の内訳

(当期 3Q末)



高キャッシュ・ポジション継続による

- ・中期的な視野に立った経営戦略実施
- ・多様な経営戦略・選択肢への柔軟な対応
- ・経営状況の安定化

## 2009年2月期 第3四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	08年2月期 第3四半期 2007/3~11	09年2月期 第3四半期 2008/3~11
営業キャッシュ・フロー	490	△704
投資キャッシュ・フロー	△681	△456
財務キャッシュ・フロー	122	1,580
現金及び現金同等物	1,326	1,474

### 営業CFの内訳

	08/2期3Q	09/2期3Q
税引前当期純利益	902	260
減価償却費	347	401
たな卸資産増減額	△750	△1,046
仕入債務増減額	630	903
その他	10	△270
小計	1,139	249
法人税支払等	△607	△954
営業CF計	490	△704

#### ○営業キャッシュフロー

- 前期の最高利益に係る法人税等の増加、たな卸資産増加の支出により、営業キャッシュ・フローは減少

#### ○投資キャッシュフロー

- 出店に伴う固定資産の取得等による支出による減少

#### ○財務キャッシュフロー

- 短期借入金・長期借入金の増加



TAY TWO

2009年2月期 業績予想

## 2009年2月期 通期業績見直し(連結・単体)

### ■連結通期業績予想

(百万円)

	2008年2月期		2009年2月期				前期比
	実績		期初予想		2008年9月17日修正		
売上高	45,568	100.0%	44,000	100.0%	42,500	100%	△ 6.7%
営業利益	1,448	3.2%	1,270	2.9%	880	2.1%	△ 39.2%
経常利益	1,413	3.1%	1,200	2.7%	810	1.9%	△ 42.7%
当期純利益	634	1.4%	500	1.1%	250	0.6%	△ 60.6%

連結EPS	1,248円60銭	988円71銭	498円18銭
-------	-----------	---------	---------

### ■単体通期業績予想

(百万円)

	2008年2月期		2009年2月期				前期比
	実績		期初計画		修正予想		
売上高	42,338	100.0%	40,100	100%	39,400	100%	△ 6.9%
営業利益	1,629	3.9%	1,200	3.0%	970	2.5%	△ 40.5%
経常利益	1,631	3.9%	1,150	2.9%	930	2.4%	△ 43.0%
当期純利益	188	0.5%	480	1.2%	300	0.8%	59.5%

## 2009年2月期 通期業績見通し(セグメント別売上高・営業利益)

### ■事業セグメント別売上高

	2008年2月期 実績	2009年2月期		前期比 増加率
		期 初 計 画	2008年9月17日修正	
連結売上高	45,568	44,000	⇒ 42,500	△ 6.7%
古本市場事業	42,332	40,180	⇒ 39,160	△ 7.5%
アイ・カフェ事業	2,816	3,350	⇒ 2,900	2.9%
EC事業	506	550	⇒ 530	4.7%
消去又は全社	△87	△80	⇒ △90	—

### ■事業セグメント別営業利益

	2008年2月期 実績	2009年2月期		前期比 増加率
		期 初 計 画	2008年9月17日修正	
営業利益	1,448	1,270	⇒ 880	△39.2%
古本市場事業	2,682	2,360	⇒ 2,130	△20.6%
アイ・カフェ事業	△224	△10	⇒ △160	— %
EC事業	7	30	⇒ 20	黒字継続
消去又は全社	△1,017	△1,110	⇒ △1,110	— %

TAY TWO

参考資料

# 会社概要

社名	株式会社テイツー（英訳名 TAY TWO CO.,LTD.）
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日：JASDAQ
本社	岡山県岡山市今村650-111
東京本部	東京都港区芝公園2-4-1ダヴィンチ芝パークA館8F
代表者	代表取締役社長 大橋 康宏
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取及ビデオレンタル業務 2.インターネット・コミック・カフェ「アイ・カフェ」の運営 3.インターネットサイトの運営
グループ会社	株式会社ユーブック、株式会社アイ・カフェ、インターピア株式会社
従業員数	正社員468人、パート・アルバイト1,741人、計2,209人(2008年11月現在)
資本金	1,165百万円(2008年11月末現在)
発行済株式数	551,400株：単元株制度なし(2008年11月末現在)
株主数	6,018名(2008年8月末現在)

# Mission

---

## ■ 経営理念

「満足を創る」

## ■ スローガン

Customer Value Creation ～顧客価値の創造～

## ■ 行動指針

ティツーの七感

- 変化を観る「目」をもつ
- お客様の声を聴く「耳」をもつ
- 親しみと感謝の気持ちを表す「口」をもつ
- 自らを律し、常に向上しようとする「心」をもつ
- 常に新しい価値と独創性を創り出す「頭」をもつ
- お客様が次に何を望むのか、時代がどう変わるのかを感じる「勘」をもつ
- お客様に親身にそしてけなげに接するひたむきな「姿勢」をもつ

テイツー・グループ・スローガン

# Customer Value Creation

## ～顧客価値の創造～

本資料は、2009年2月期第3四半期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2008年12月22日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口：経営企画部 片山 靖浩・徐(ソウ)チョンホン

TEL03-5408-5532 FAX03-5408-5501

E-mail: [ir@tay2.co.jp](mailto:ir@tay2.co.jp)

URL: <http://www.tay2.co.jp>